

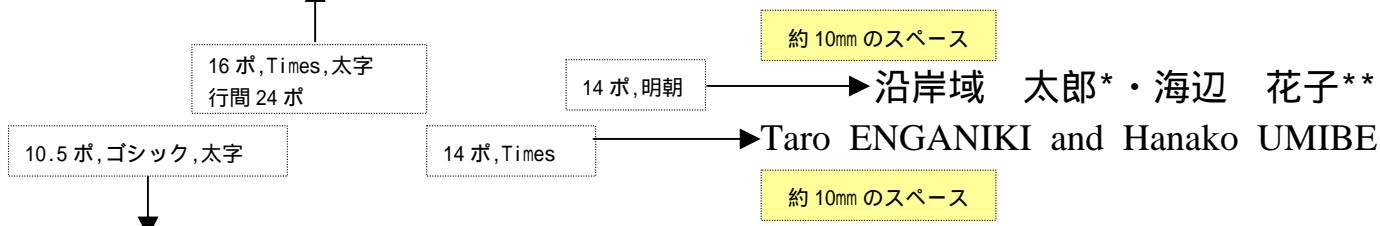
原稿作成フォーマット

16 ポ,ゴシック,太字

日本沿岸域学会論文集の完全版下投稿用和文原稿作成例

Print Sample of Japanese Manuscript

for Journal of Japanese Association for Coastal Zone Studies



**要旨:** このファイルは、日本沿岸域学会論文集の完全版下投稿用和文原稿作成例を示したものです。版下原稿を作成するために必要な、レイアウトやフォントに関する基本的な情報を記述しています。また、このファイルは版下原稿そのものの体裁をとっているため、このファイルの中の文章や図表をこれから書こうとしている実際のものに置き換えれば、所定のフォントや配置の原稿を容易に作成することができます。この和文要旨のフォントは、明朝体10.5ポイントを用いてください。和文要旨の長さは、1行あたり約50文字、10行以内です。要旨の後に、キーワードを3~5語、ゴシック体10.5ポイントのフォントで書いてください。

**キーワード:** ゴシック体, 10.5ポイント, 3~5語



1. 原稿の体裁

1.1 用紙サイズ

原稿は、A4サイズの用紙を用い、「原稿作成フォーマット」に沿って、完全版下を作成して下さい。刷り上がりは、B5サイズに縮小されます。

1.2 余白

余白は、上が35mm、下が22mm、左が20mm、右が20mmとして下さい。

1.3 フッター

ページの右下のフッター部分に、ページ番号を記入して下さい。鉛筆による記入でもかまいません。

2. タイトルページ

2.1 タイトルページの構成

タイトルページは、タイトル部分、本文部分、著者所属の三つから構成されます。

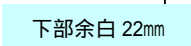
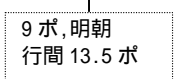
2.2 タイトル部分のフォーマット

横1段組として、論文のタイトル、著者名、要旨、キーワードの順に記述して下さい。

これらは、和文と英文の両言語で作成します。

ただし、要旨とキーワードは、和文と英文の原稿により、記述が異なります。和文原稿の場合、このサンプルの通りタイトルページに和文要旨等を記述し、末尾に英文要旨等を記述します。英文原稿の場合は、この逆に英文、和文とします。

\* 正会員 沿岸域大学 工学部建築学科, \*\* 正会員 海辺大学 理学部物理学科



それぞれのフォント、レイアウトなどは、次の通りです。

タイトル：和文はゴシック体，英文は Times，  
16 ポイント，中央揃え

(約 10mm のスペース)

著者名：和文は明朝体，英文は Times，  
14 ポイント，右揃え

(約 10mm のスペース)

要旨：和文で明朝体 10.5 ポイント，10 行以内

キーワード：和文でゴシック体 10.5 ポイント，  
3～5 語

1 行空ける

## 2.3 本文部分のフォーマット

本文とキーワードの間に約 10mm のスペースを空けて下さい。その他のフォーマットは、3 章の記述に従って下さい。

1 行空ける

## 2.4 著者所属のフォーマット

横 1 段組として、会員種別、所属(大学・学部・学科、会社名・部・課)を、明朝体 9 ポイント、行間 13.5 ポイントで記述して下さい。また、著者と所属先との対応がわかるように、著者と所属先に\*、\*\*などの記号を付けて下さい。

1 行空ける

## 2.5 英文原稿の場合

英文の要旨とキーワードのフォントやサイズなどは、末尾の英文要旨を参照して下さい。

1 行空ける

## 3. 一般ページ

### 3.1 段組数・文字数・行数

横 2 段に組み、1 段 22 字 36 行程度で作成して下さい。また、英文原稿の場合は、横 2 段に組み、1 段 38 行程度で作成して下さい。

1 行空ける

### 3.2 フォント

本文は、明朝体 10.5 ポイントとし、文頭は 1 字

下げて下さい。また、英文原稿の場合は、Times 11 ポイントとし、文頭を 2 字下げて下さい。

1 行空ける

### 3.3 見出し(見出しが 1 行以上に長くなるときは、この例のようにインデントし折り返す)

#### 3.3.1 見出しのレベル

11 ポ、ゴシック、太字

見出しのレベルは、原則として章、節、項の 3 段階までとします。

#### 3.3.2 見出しのフォント

見出しは、ゴシック体とし、章を 12 ポイント、節と項を 11 ポイントの太字とします。

#### 3.3.3 スペースなど

本文と章・節の間には、1 行程度のスペースを空けて下さい。本文と項の間には、特にスペースを空けません。

また、ページや段が切り替わる部分は、章などの見出しが最上部に来るように調整して下さい。

1 行空ける

## 3.4 図・表・写真

図表等は、原則として、それらを最初に引用する文章と同じページに置くこととします。原稿の末尾にまとめてはいけません。また、図表等は、それぞれのページの上部または下部に原則として集めてレイアウトして下さい。

図表等の幅は、「ページ幅いっぱい」か「1 段の幅いっぱい」のいずれかとします。図表等と文章との間には、1 行程度のスペースを空けて区別を明確にします。図表等のキャプションは、次の例のようにして下さい。

10 ポ、ゴシック

1 行空ける

表 1 表のキャプションは、表の上に置く。このように長いときは、インデントして折り返す。

番号	県名	件数(数)
1	北海道	100
2	東京	200
3	沖縄	300

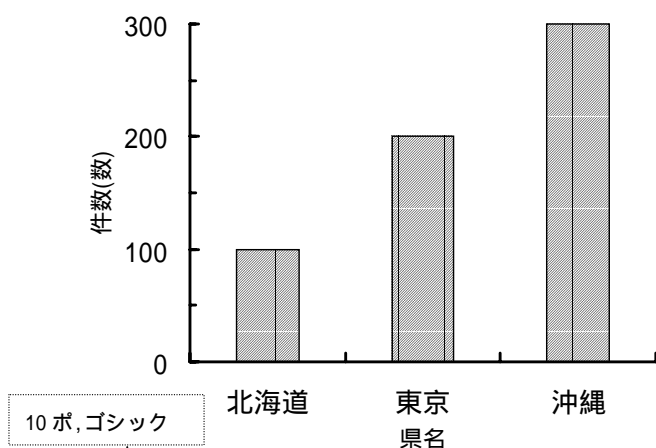


図1 図のキャプションは、図の下に置く。

1行空ける

その他、図表等は、B5サイズへの縮小を考え、十分判読できるよう、線の太さ、文字の寸法等に注意して下さい。

### 3.5 数式

数式は、

$$y = a \cdot x + b \dots\dots\dots (1)$$

のように記述し、式番号はかっこ書きで右詰めにします。数式と式番号の間のリーダー（点線）はなくてもかまいません。

### 3.6 引用・参考文献

引用・参考文献は、引用・参考順に番号を振り、その引用・参考箇所でのように<sup>1)</sup>上付き右括弧付き数字で指示します。引用・参考文献は「結論」、「謝辞」、「付録」の後にまとめて記載します。

引用・参考文献の書き方は、著者名、論文名、雑誌名（書名）、巻号、ページ、発行年月日の順に記入して下さい。英文の雑誌の場合は姓、イニシャルとします。著者数が多い場合は第一著者のみ上記の規則によって書き、後を“ほか”、“et al.”として省略してもかまいません。また、英文雑誌の場合は、論文の表題は第1字のみ大文字、その他は、固有名詞以外はすべて小文字とします。単

行本の場合は、著者名、書名、ページ、発行所、発行年とします。英文の単行本の場合は、書名の頭文字は各単語とも大文字とします。詳細については、記入例に従って下さい。

## 4. 著者紹介

著者（会員種別）、改行して論文掲載時の所属機関名とその住所（問い合わせ先）、生年月日、最終卒業校と卒業年月、主な研究・職歴、学会歴、所属学協会、学位・称号・資格とその取得年、e-mail address等を「原稿作成フォーマット」を参考に、1人当たり本文8行分程度で記載し、写真一葉（上半身、縦30mm×横24mm）を添付して下さい。この著者紹介も規定ページ内におさめて下さい。

なお、著者紹介は論文掲載の決定後に、引用・参考文献の後に追加して下さい。

## 5. 最終ページ

最終ページの末尾に、和文原稿の場合は、英文のタイトル、著者名、要旨、キーワードを横1段組で書きます。英文原稿の場合は、和文のタイトル、著者名、要旨、キーワードを横1段組で書きます。フォントの種類やサイズは、各サンプルを参考にして下さい。

このサンプルにあるように、本文や引用・参考文献リスト、著者紹介までの2段組部分の左右の柱の高さをできるだけ同じにし、10mm以上のスペースを入れて要旨等を配置します。

### 謝辞

12ボ,ゴシック,太字

「謝辞」は、「結論」の後に置いて下さい。

### 付録 「付録」の位置

「付録」がある場合は、「謝辞」と「引用・参考文献」の間に置くこと。

12 ぽ,ゴシック,太字

### 引用・参考文献

- 1) 沿岸域太郎・海辺花子：日本沿岸域学会論文  
集の完全版下投稿用和文原稿作成例，日本沿  
岸域学会論文集，No.15，pp.1-4，2002.8
- 2) Taro Enganiki and Hanako Umibe：Print  
Sample of Japanese Manuscript for Journal  
of JACZS, Journal of Japanese Association  
for Coastal Zone Studies, No.15, pp.1-4,  
2002.8
- 3) 日本沿岸域学会：トップページ，  
<http://www.jaczs.com/>，2002.8

本文（和文）  
10.5 ぽ,明朝 1 段 22 字 36 行×2 段=1584 字/頁

11 ぽ,ゴシック,太字

### 著者紹介

顔写真  
30mm×24mm

9 ぽ,ゴシック

沿岸域 太郎（正会員）

沿岸域大学工学部建築学科（東京都新  
宿区富久町 16-5），昭和 22 年生まれ，  
昭和 44 年 3 月沿岸域大学建築学科卒，  
同年 4 月沿岸域建築株式会社に入社，  
昭和 60 年沿岸域大学工学部建築学科勤  
務，現在同大学教授，工学博士，建築  
学会会員。

E-mail: info@jaczs.com

<http://www.jaczs.com/>

9 ぽ,明朝  
行間 13.5 ぽ

海辺 花子（正会員）

海辺大学理学部物理学科（東京都品川区海辺町 1-1），昭  
和 57 年 3 月海辺大学理学部物理学科卒，同年 4 月海辺観  
測株式会社に入社，平成 2 年海辺大学理学部物理学科勤務，  
現在同大学助教授，理学博士，物理学会会員。

補足：顔写真は，著者の意向により，掲載しない場合があ  
ります。

E-mail: info@jaczs.com

10mm 以上のスペース

16 ぽ,Times,太字  
行間 24 ぽ

## Print Sample of Japanese Manuscript

### for Journal of Japanese Association for Coastal Zone Studies

1 行空ける

10.5 ぽ,Times,太字

14 ぽ,Times

Taro ENGANIKI and Hanako UMIBE

1 行空ける

**ABSTRACT** : The present file shows a print sample of the camera-ready manuscript for Journal of Japanese Association for Coastal Zone Studies. Its text describes instructions to prepare the manuscripts: the layout; the font styles and sizes; and others. If you replace the text or the figures in the present file by your own ones, using CUT & PASTE procedures, you can easily make your own manuscripts. The editorial committee requests the authors to read the instructions carefully.

For this English ABSTRACT, font used here is Times-Roman 10.5pt and line space is 17pt.

**KEYWORDS** : *Times, 10.5pt, several words, no blank line below ABSTRACT, indent if key words exceed one line*

10.5 ぽ,Times,太字

10.5 ぽ,Times,斜体,最大 2 行

10.5 ぽ,Times,最大 12 行  
行間 17 ぽ